



やるぞー！



ポジティブに!!

2月9日、公立前期選抜の合格発表でした。想像以上に長く、そして嬉しく、そして辛い日でもありました。今回の結果を、個々にはどうとらえ、どう生かしていくのだから、みんな言葉があります。3年生のみんなは、ニミでのあゆみとどうとらえて、いかに考えてみて

てください。

- 頑張ったことば 評価されたとき — 喜べ！未来への貯金をしたことを！
- 頑張ったことば 評価されたとき — プラスマイナスゼロ(0)！
- 頑張らなかつたのに 評価されたとき — 気をつけろ！未来から借金したことを！



人生というのは、何度も何度も苦しい経験とくり返していくものです。何の苦勞もなく人生を終る人なんていませんから。そんな挫折や困難に負けない心の強さを育てること。この心でどんどん自分の人生を豊かに、そして幸せにしていけるのです。だから「前向き」に生きていこう！ニミきたらあとは自分の信念・努力の足跡を信じて立ち向かうのみです。あはたが頑張ってきたことは必ず報われます。いつかきっとどこかで。だから今は、どんな評価であつてもそれを受け入れることです。努力は時に人を裏切るけれど、あはたが流した汗や涙は「成長」という言葉が裏切りません。大切なのは、いつでも **今** です。



2年生修学旅行記 — ONE TEAM ONE TRIP — ～あいさつ・感謝・礼儀～

2月4日立春の日に出発し、2年生最大のイベント「修学旅行」がスタートしました。博多から新幹線に乗ると、一路大阪へ。最初の目的地はUSJでした。子どもたちのテンションは瞬く間に最高潮に達していました。午後半日はアトラクションやお買い物で満喫すると、バスに乗り込み京都の宿泊地へ。夜はフランスから同じ修学旅行に来た高校生の交流と楽しい宴が見られました。2日目は朝から1日班別自主行動。事前に計画していた見学場所まで、自分たちだけでいったり周ることになりました。私も吉里先生、西村先生とともに自転車で京都市内を散策しました(きつかったです)！3日目は最終日は奈良の東大寺で、大仏の大きさに圧倒され、鹿の餌やりと悲鳴の間に、それまでいかに歴史の重みを感じてきました。最後の見学地となった水戸黄伝博物館では、差別に立ち向かい戦った人々の姿から、光を感じていこう。そしてあ、という間に楽しいひと時は終りを迎えました。

大きなトラブルや事故もなく無事に修学旅行を終えることができたことは、公の場にとびこむことで社会のマナーや常識を学び、集団行動の大切さや人との関わり方を学び、何より自分の目、耳、鼻、肌、心で本物を学べたこと。これが一番大きかったかなと思っています。

あ、という間の3日間でした。修学旅行が安全に実施できるように真摯に子どもたちの世話をしてくれた教員の方、ホテルで関わっていたスタッフの方、現地で出会ったガイドの方々。そんな多くの人々のおかげで、こんな素敵な修学旅行ができたこと、忘れずにほしいです。

「ありがとう」の言葉を、しっかりと伝えるべき人に伝えようとしたか？

自分の人生の「大きな財産」になったか？

今日のこの学びと、心の中の生活に生かすこと、2年生諸君の心の中に期待します!!

